



私たちの青森県は、三方を海に囲まれ、白神山地や十和田湖など美しく雄大な自然に恵まれ、優れた芸術・文化や産業を育んできました。

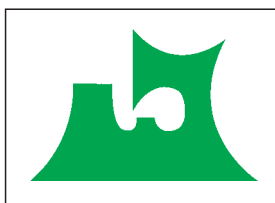
県では、これらの恵みを活かし、青森県の将来像として、暮らしやすさではどこにも負けない地域とする「生活創造社会」を掲げ、自主自立の青森県づくりを進めています。

県政の最重点課題である「産業・雇用」と「人財育成」に引き続き取り組むとともに、青森県の持つ多様で恵まれた資源、人財、ネットワークといった青森県ならではの地域力である「青森力」を活かし、結集して「生活創造社会」の実現を確かなものになりたいと考えています。

この冊子を通じ、青森県の多くの魅力を知り、新たな青森県づくりについて理解を深めていただければ幸いです。

青森県知事 三村 申吾

青森県のシンボル



県章 (1961年制定)

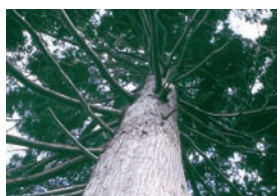
青森県の地形を図案化したものです。
白地は、無限に広がる宇宙世界を、県章の深緑色は躍進発展してやまない希望と未来を表しています。



県の花「りんごの花」

(1971年制定)

青森県政百年を記念して、指定されました。全国第1位の生産を誇るりんごの花は、5月上旬から中旬にかけて咲きそろい、その白い花はとても美しく、県民に親しまれています。



県の木「ヒバ」

(1966年制定)

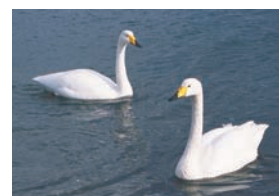
厳しい風雪にも耐え、たくましい生命力を持つ「青森ヒバ」は、「ヒノキアスナロ」とも呼ばれる、青森県を代表する針葉樹です。



県の魚「ひらめ」

(1987年制定)

つくり育てる漁業を進める青森県を代表する魚です。



県民鳥「白鳥」

(1964年制定)

白鳥は、北国に冬を告げる代表的な鳥として県民に親しまれています。